

第三者意見

渡邊 好啓 (わたなべ よしひろ)
公益社団法人 日本技術士会 審議員
共栄テクニカ (株) 代表取締役
岐阜大学 工学部 非常勤講師



岐阜大学の環境報告書を拝見し、あまりの盛りだくさんに驚きましたが、この盛り込みが環境省の「環境報告書ガイドライン 2007」に沿った内容であることもわかりました。しかも、“この編集が 2008 年版以降、学生に任せている”との環境対策室長 西村眞一教授の言葉です。この学生の目線重視をとってもよいことと賞賛を贈りたくになります。しかも、学長の顔写真掲載で語りかけられる環境重視の大学姿勢もよく伝わってきていますし、全学におよぶ各学科の環境教育内容や、環境配慮の各学部等の活動の掲載記事の中では、教育学部、地域科学部、医学部、工学部、応用生物科学部等の先生方が社会に関わる環境関連の研究内容で説明をされている点で、読み物としての冊子化姿勢も、気持ちの伝わる構成となっています。

これらの意見の上で、更によりものとして頂くための第三者意見として、次の点を示し、今後の検討を期待するものです。

- 1 重要点の学生編集らしく全体的に盛り込み重視となっていますが、大学の環境取り組み活動に対する年度ごとの重点施策を絞り込んで目標とし、PDCAサイクル展開が見えるようにして欲しい。これは、出来ていないというわけではなく、重点活動の大見出し化と、展開の記載方法の見直しに対するお願いになると思います。

更に、このように立派な岐阜大学の環境報告書を多くの岐阜大学の学生の皆さんに知って頂くと共に、掲載内容を研究材料としても大いに取り込み用いて頂きたいものだと思います。

- 2 掲載項目の中で、「2 : マネジメント・パフォーマンス指標、17 生物多様性の保全と生物資源の持続的な利用の状況」が、未掲載の項目となっております。みなさまもご存じの通り、環境管理マネジメントシステムにおいては、多くが炭酸ガス排出制限が重要視されています。しかし、近年におきましては、これと同等かそれ以上に、生物多様性の保全と生物資源の持続的な利用の課題が重要な対象とされております。ましてや、岐阜大学では応用生物科学部という関連学科も擁しておりますので、ぜひ、取り組みをお願いしたいところです。

- 3 更に、私の欲からのお願いの意見なのですが、掲載項目の中で「3 : オペレーション・パフォーマンス指標、25 総製品生産量又は総製品販売量」の項目に合わせて、環境の学び学生数を該当内容として取り入れて頂けないかと思えます。しかも、これを各年度目標として取り上げて頂くという考え方があっても良いのではないかと思えますが、いかがなものでしょうか。